

## 国民スポーツ大会ソフトテニス競技（成年、少年）、中学都道府県対抗選手選考基準

### 1 成年男女

一次選考会【前年度国スポ出場選手同士のペア（九州ブロックを含む。）は免除】  
原則、男子ベスト 8 ，女子ベスト 4 を二次選考会へ推薦する。

#### 二次選考会

一次選考会で推薦された選手及び前年度国スポ出場選手で総リーグ戦を行い、男子は原則、上位 6 ペア、女子は原則、上位 4 ペアを最終選考会に推薦する。ただし、最終選考会から出場する選手がいる場合は、そのペアを含め、男子 6、女子 4 とする。

#### 最終選考会

二次選考会で推薦された選手及び強化指定選手で総リーグ戦を行い、上位 1 ペアを決定する。また、全日本シングルス選手権大会のベスト 3 2 以上の選手及び熊本県シングルス選手権大会のベスト 4 以上の選手を含め、シングルの試合を実施し、シングルの試合内容及び各指定大会の成績、強化練習会での成果を基に残る 1 ペアと 1 人を強化委員会が推薦し、県連常任理事会の承認を得て、選手 5 人を国体代表選手とする。

### 2 少年男女

#### 最終選考会出場枠について

最終選考会の出場枠は、県高校選手権及び県高校総体個人戦のベスト 4 のペア、ハイスクールジャパンカップ予選シングルのベスト 4 並びに県連盟から推薦する若干名（中学生含をむ。）とする。ただし、上記の選手が何らかの理由で最終選考会に出場できない場合は、当該校の顧問が最終選考会の前日までに強化委員会に連絡し、補充の必要性がある場合には強化委員会で推薦し、理事会の承認を得る。

#### 国スポソフトテニス競技代表選手の選考について

ア 最終選考会の結果を基に強化スタッフで代表候補選手を決定する。

イ 代表候補選手については、7月に強化スタッフで推薦し、常任理事会の承認を得る。

#### 監督及びコーチについて

##### ア 第79回国スポ

男子： 県高校総体団体優勝校の監督を国スポ少年男子の監督とする。同監督が辞退又は指導員資格を有していない場合は、同監督が指名する者を監督とする。その他のコーチスタッフは監督に一任する。

女子： 県高校総体団体優勝校の監督を国スポ少年女子の監督とする。同監督が辞退又は指導員資格を有していない場合は、同監督が指名する者を監督とする。その他のコーチスタッフは監督に一任する。

### 3 中学都道府県対抗

#### (1) 一次選考会

##### 【参加資格】

以下の ~ の条件をクリアした選手で一次選考会を行う。  
ジュニア審判資格取得者または申請済みの者  
技術等級取得者または申請済みの者  
熊本県新人戦(個人戦)ベスト16のペア(九州ジュニア出場ペア)  
前年度のU14選抜選手  
中学委員会推薦選手

##### 【選考方法】

本部で組んだ一次リーグ1・2位は最終選考会に進出。それ以外のペアは、結果を考慮し、もう一度本部でリーグ戦を組み、数ペアを最終選考会に進出させる。さらに中学委員会推薦で2名(必ずしも推薦しなくてもよい)を推薦してよい。

#### (2) 最終選考会

1日目は、午前中にシングルのゲームを行う。その様子でペアリングをし、午後と2日目の午前中はダブルスのゲームを行う。2日目の午後は、その結果や内容を参考にしながら、様々な対戦を本部で組み、ゲームを行う。(これは基本とするが、状況によっては変更もある。)

この時点で、基本的に8名に絞る。しかし、状況によっては若干多めに選考することもあり得る。その際は、12月の強化や九州ジュニアの様子を見ながら、1月上旬に決定する。最終的に選考した8名を強化する中で、ダブルス3ペア、シングル2名を決定する。

都道府県対抗熊本県選抜チームのメンバーがケガ等により参加できなくなったときには、選考会に出場して選手の中から補充する。その場合、熊本県選抜チームのスタッフと協議の上、補充選手を決定する。

九州選抜大会に関しては、U14チームを結成しないため、地区対抗の上位2チームを代表とする。

#### (3) スタッフについて

スタッフは中学委員会で推薦する。ただし、そのスタッフが必要と思えば、外部からのコーチを中学委員회에推薦できることとする。その際、本人への打診は、中学委員会で検討した上で、中学委員会委員長もしくは強化委員長から行う。